# 西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略 変更箇所(抜粋)

### 1. 戦略体系の変更

新旧対照表 ページ数	総合戦略の政策分野 【基本目標】	【 現 行 】 対 応 す る 施 策
		② 学校教育の充実
	国の政策分野③	(1) 教育環境の整備・充実
	3. 子育て世代に選ばれるまちづくり	(2)「ともにつくり、みんなが育つ学校」の創造
		(3) 知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成
P50		⑤ 協働のまちづくりの推進
	国の政策分野④	(1) 協働のまちづくりの推進
	4. 安全・安心で暮らしやすいまちづく	(2) 市民活動団体の育成・支援
	り	(3) 市民活動団体のネットワーク化の促進
		(4) 地域コミュニティ活動の支援



	【 変 更 後 】 対 応 す る 施 策	変更理由
	② 学校教育の充実	
	(1)「ともにつくり、みんなが育つ学校」の創造	平成29年度「西条市の教育基
	(2) 知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成	本方針」との整合性を図る。
	(3) 西条市の特色ある学校教育の取組の推進	
/	⑤ 協働のまちづくりの推進	
	(1) 協働のまちづくりの推進	市民活動団体に関すること
	(2) 市民活動団体の育成・支援・ネットワーク化の促進	が、市民活動支援センターを核 とした取組となるため、施策の
	(3) 地域コミュニティ活動の支援	統合を図る。



# 2. 施策に関する基本的方向の変更

新旧対照表ページ数	総合戦略の政策分野 【基本目標】	【 現 行 】 対 応 す る 施 策
P59	国の政策分野②  2. 西条ブランドを活用した魅力あるまちづくり	② 西条の価値や魅力の向上・発信 優位性・独自性のある地域特有の資源を掘り起こし、積極的に全国に 発信することにより、西条ブランドの定着化と様々な市場での優位性の 確保に努めます。 また、西条ならではの特産品開発を推進し、西条ブランド戦略による効 果を農林水産業や観光など多方面へ波及することにより、地域経済の 活性化を図ります。
P64	国の政策分野③ 3. 子育て世代に選ばれるまちづくり	① 子どもを産み育てる環境の充実  少子化や核家族化、女性の社会参加が進むなど、子どもを産み育てる環境が変化する中、結婚希望者への支援や次代を担う子どもと子育て家庭を地域全体で支え合う仕組みを構築します。また、多様化する保育ニーズに対応するため、相談体制を強化するとともに、現行の保育サービスの見直し・充実を図ります。さらに、すべての家庭が安心して子育てできるよう、子育て支援サービスの充実を図るとともに地域の子育て環境の整備を図ります。
P68		② 健康づくりの推進 誰もが健康で豊かな生活を送ることができる活力ある地域社会の実現に向け、市民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上を図るため、ライフステージに応じた健康でくりのための施策を推進します。また、自らの健康や家族の健康を守る主体的な活動を支援し、保険制度の円滑な運営に努めます。さらに、市民のスポーツ競技力の向上を目指すとともに、誰もがスポーツやレクリエーションに親しむことができる環境づくりに取り組みます。
P69	国の政策分野④  4. 安全・安心で暮らしやすいまちづく り	④ 防災・減災対策の強化  風水害や津波、南海トラフ巨大地震などに備えて、防災・減災対策の強化や防災基盤の整備など、安全・安心なまちづくりを進めることが重要です。 市内全域における情報の的確な収集と、住民への迅速な伝達手段の構築を図るほか、山間部や沿岸部、河川流域など災害が発生する可能性が高い地域においては、優先的に必要な対策を講じます。併せて、教育施設を含む地域の身近な公共施設については、耐震化や災害対応機能の強化を図り、災害時の避難場所としての機能を果たせるようにします。また、平時における市民一人一人の、防災・減災意識の醸成が重要であることから、防災教育や防災訓練、広報活動などを通じて、意識啓発と知識の普及に努めます。 さらに、大規模な災害発生時に迅速に対応できるよう、消防・教急・救助体制を強化するとともに、"自助・共助"の中核を担う消防団や自主防災組織の強化及び結成促進や、様々な分野の企業・団体との災害時応援協定締結に取り組み、地域の防災力向上に繋げていきます。

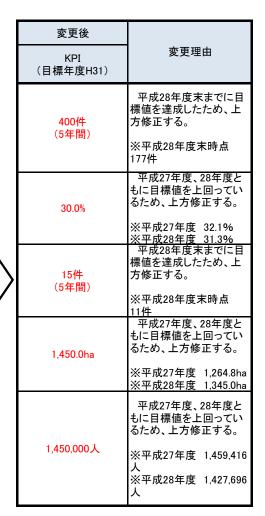
【 対	変 応	更 す	[ る	後 施	】 策	変更理由
かつ効果的に	性のある地: 市内外に発作向上と市民の 住人口の増 らではの特別アップをしな ンド戦略によ	域特有の 言する「シ のまちへの 加を目指 産品開発、 がら、果を	資源や規 ティプランで ででで でで で で で で で で で で で で で で で で で	モーション」の や誇り(シビ 地域資源を 加価値を高 産業や観光を	ックプライド)の 舌用した商品 める取組を推	シティプロモーションの推進を 明確にする。 また地域ブランドの確立に向け、施策内容を拡充する。
る環境が変化で家庭を地域でまた、多様化ともに、現行のさらに、すべ	家族化、女性 する中、結婚 全体で支える する保育ニー 保育サービ ての家庭が5	の社会参 希望者へ う仕組み 一ズに対 スの見直し 安心して子	加が進 の支援 を構築し をするた で 育てで	や次代を担う します。 め、相談体制 を図ります。 きるよ <b>う</b> 、子間	もを産み育て う子どもと子育 訓を強化すると 育て支援サービ 子育て環境の整	
康づくりのため 特に、「がん 実施するなど、	豊かな生活 民の健康ラット 健康プラット の策」を積症の がん発家を 健康 発家を は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	かの延伸を フォームを さい から から から から から から で で で で で で で が で が で が で が で が で が で	び生活に構築し、ヘリコル率的に流空る主体	の質の向上、ライフステー ベクター・ピロ 進めます。 的な活動を 指すとともに	を図るため、一ジに応じた健  リ感染検査を 支援し、保険制 、誰もがス	や場面において、ICT技術を活用することを明確にする。 また、健康推進の中でも「がん対策」について、具体的な内容
強要市構性やせまで発さい、対している。は、対しているでは、対しているが、対しているが、対しているが、対しているが、対し、対し、が、対し、対し、が、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	皮盤 けいに施能すお、及僕す及取信 中衛 報節にもいるがいに施能するがいになるが知いを強 一方ののはいいを強 一方ののではなるが知らない。 日本のでは、のぞ、とは、ので、のぞ、のぞ、とは、のが、というでは、のぞ、のぞ、というでは、のが、というでは、のが、というでは、のが、というでは、のが、というでは、のが、というでは、のが、というでは、のが、というでは、のからない。	フビ、的沿優地図 一やが寒時間では大安、確岸先域り、人がひに即くがいに即く様の、人がひに即くがいに即く様のには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	安集河必近時の東りによなカ、心と川要なの防広の対での防広の対の分向災な、流ない避災報推応の野上書	ち 民 な が かい	な生生ない。 な生すすが、 での機能が、 での機能が、 での機能が、 での機能が、 での機能が、 でのでは、 での機能が、 でのできる。 でのでのできる。 でのででのでのでのでのででのでできる。 でのででのででのででのでででででででででででででででででででででででででで	を追加する。

新旧対照表ページ数	総合	戦 基	略 <i>0</i> 本	D 政 目	策 : 標	分 】	文	<b>[</b>	応	現 す	行 る	施	】 策	
P70	国の政策 <b>4. 安全</b> り			らしや	すいき	まちづく	高人が様知、にまとめるたら相進が必々識ま参た能、とめに日進に、とめに相進して、関すると、は、とのに用進して、関すると、は、関すると、は、関すると、は、関すると、は、関すると、は、関すると、は、関すると、は、関すると、は、は、関すると、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	かんで大情スで民をといま市解す日進のす学報ポき民十て、組民をす常展能。なな一の一分、女みの深。生	や力を で得か地人にる性で がった で得か地人にる性で のるや は一角発題のり際る などの 大発題 は は は れる は がまれる は に は は は は は は は は は は は は は は は は は	して地域で、携になって、 機関側には、 できないできた。 できないといいでは、 できないとがいることがいるできないとでいる。 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	きを が解に らるなり 指に いっぱい しょう いっぱい しゃく いっぱい ほんしょ しょう しょう はい	しながら、から、全ながら、から、全ながら、から、から、から、ど源がするな資産がいるである。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ころいうのの関すると

【 変	更	後	】	変更理由
対 応	す る	施	策	
⑥ 時代の変化に対立した。 高齢化の変化に対立した。 高齢化の進展やグ活かしたが必要です。 自らの的な図の意言当ために、 で持続かと図るため、に、 して、大高の的な図の強化を図るたの強化を図の強化を図の強化を図のでは、 大高の的な図のでは、大高の地域では、大高の地域では、 大高のりを図るがでは、 大高の地域では、 大高の地域では、 大高の地域では、 大高の地域では、 大高の大学なを得かして、 が知識たないでは、 が知識をを別して、 大さる人人に課題では、 は、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない。 大きない、 大きない。 大きない、 大きない、 大きない、 大きない。 大きない、 大きない、 大きない。 大きない、 大きない、 大きない。 大きない、 大きない、 大きない、 大きない。 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない、 大きない。 大きない、 大きない、 大きない、 大きない。 大きない、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない、 大きない。 大きない、 大きない。 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、	ルイ は が で と は は が で と が で と が で と が で と が で と が で と か で が で こ か が で こ か が で こ か か で で が で こ か か で で か で が で こ か か が で こ か か が で こ か か が で こ か か が で こ か か が で こ か が で か で か で で か で で か で で か で か で か で	加いの特別では、大きな地域をいいます。 はいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいい	域社 か中ア全た すめ市 に会的拡 者けん にんの かりしょう かっという から	時代の変化に対応し、企画部門の強化を図るため、「自治体シンクタンク」の設置について、 追加する。

## 3. 目標値の変更

新山林昭丰		現行	ī		現行
新旧対照表ページ数	政策分野	施第	÷,	項目	KPI (目標年度H31)
P54		② 企業活動の活性化	(2)中小企業などのもの づくり産業の支援	市内ものづくり企業と市内外企業などとのマッチング件数(累計)	150件 (5年間)
P55		⑤ 商業の振興	(1)中心市街地の活性化	商店街空き店舗率	33.0%
F33	1 産業振興 による活 力あるま	◎ 尚未び拡発	(1) 中心印度地00万庄化	商店街空き店舗への新規出店件数 (累計)	5件 (5年間)
P56	ちづくり		(1)農業生産基盤の確立	戦略作物の年間栽培面積	1,250.0ha
P57		⑥ 農林水産業の振興	(5)地産地消や食育の推 進	農産物直売所来場者数	1,420,000人



新旧対照表		現行	ī		現行		変更後	
ページ数	政策分野	施策		項目	KPI (目標年度H31)		KPI (目標年度H31)	変更理由
P61		① 観光産業の創出	(2)魅力ある観光ルートの 確立と情報発信	-石鎚山登山者数	51,000人		58,000人	平成27年度、28年度と もに目標値を上回ってい るため、上方修正する。
		③ 環境資源を活かした地域づくり	(1)地域の環境資源の活 用の推進		,		•	※平成27年度 60,000人 ※平成28年度 57,494人
P62	西条ブラ ンドを活用 した魅力 あるまち づくり	② 西条の価値や魅力の向	(2)魅力の発信やPR	フェイスブックアクセス数	890,000件		1,600,000件	平成27年度、28年度と もに目標値を上回ってい るため、上方修正する。
		上·発信	(E//E//30/) (II ( ) ( )		555,5551	,		※平成27年度 1,694,499 件 ※平成28年度 1,495,039 件
		① 子どもを産み育てる環境の充実	(3)母子保健の充実	5歳児のスムーズな就学に対する保 護者の満足度	80%		100%	平成27年度、28年度と もに目標値を上回ってい るため、上方修正する。 ※平成27年度 81.30%
P66	3 子育て世 代に選ば れるま		(2)「ともにつくり、みんなが育つ学校」の創造	教育用パソコン	3.6人/台		3クラスに1クラス分	※平成28年度 97.40% 文部科学省より、「教育 用パソコン」の整備に関 する新たな整備目標が示されたため、これを根拠と して修正を行う。
	づくり	② 学校教育の充実		街頭指導(声掛け含む)件数	1,400回	<b>,</b>	1,000回	平成27年度、28年度と もに目標値を上回ってい るため、上方修正する。 ※平成27年度 1,299回 ※平成28年度 1,082回
P71	4	① 地域福祉の充実	(2)介護予防の推進	介護予防事業の延べ参加者数	4,500人		5,000人	平成27年度、28年度と もに目標値を上回ってい るため、上方修正する。 ※平成27年度 4,977人 ※平成28年度 5,053人
P74	安全・安 心で暮らし やすいま ちづくり	<ul><li>④ 防災・減災対策の強化</li></ul>	(3)地域防災力の強化	市が養成した防災士の人数(累計)	100人 (5年間)		300人 (5年間)	※平成28年度 5,053人 平成28年度末までに目標値を達成したため、上 方修正する。 ※平成28年度末時点 183人

#### 4 施策内容・取組内容・項目の追加及び変更

新旧対照表		現行						
ページ数	政策分野	施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容			
		① 総合6次産業都市の実現						
P53		(3)総合6次産業都市を支える 産業人材育成機能の確立	-	_	○地域関係者止地元高等学校が連携して新たな農業人材を育成す る性組みを確立ます。 ○高等教育機関と地元高等学校が連携して実施する高、連携教育 を支援します。 ○高度専門、材を育成する拠点となる(仮称)地域創生センターを整備します。			
		② 企業活動の活性化			,			
P54	1 産業振興による活力あるまちづくり	(2)中小企業などのものづくり産 業の支援	-	-	〇コーディネータ、アドバイザーなどの裏門家を配置、中小企業の事業開発を理能、機能的なフォローアップを実施することにより経営 支援体制を構築します。 の新事業展開、販路開拓、人材育成、業務改善、共同研究、成長産業争人を支援することにより、ものづくり産業競争力の強化と関リます。 ・ のものづくり中小企業による大型展示金への出展や海外及開、市外企業とのマップンを、現や近隣自治体などとの連携を図りなから、 様才なことにより、国内外における新たな中海開拓を推進します。 の市内小・中学に対し、本市ものでくり産業におりる場所を決します。 の市内小・中学に対し、本市ものでくり産業におりる場所をは、 体機能と使すプログラムを接供し、ものづくり産業部争力の強化を支 入る次世代人材を育成します。			
		<ul><li>③ 新規産業の創出</li></ul>	I.					
		(1)新事業の創出と起業家の育成	-	_	○新たに創業する者や多様な連携により新商品・新サービスの開発、ビジネスモデルの転換などに取り組む事業者を支援することにより、創業の設進と起業家の育成を図ります。			
		⑥ 農林水産業の振興						
P56		(1)農業生産基盤の確立	基盤整備率	36.1%	○ 木組及び郵路作物のか率的な生産体制に必要な大型機械・共同 利用施設などの影響を支援します。 ○野菜、果樹、花さなど振興作物の栽培拡大に向けた取組を支援します。 ○ 以本や愛媛県、農業委員会などの関係団体との連携事業を推進し こます。 ○ は、日本の受媛県、農業委員会などの関係団体との連携事業を推進し こます。 ② は、農業を営の合理化、安定化及び農業 生産の体制機化を図ります。			

施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容	変更理由	
① 総合6次産業都市の実現					
(3)総合6次産業都市を支える 産業人材育成機能の確立					
<ul><li>② 企業活動の活性化</li></ul>	•				
(2)中小企業などのものづくり 産業の支援	-	-	○コーティネータ、アドハイザーなどの専門家を配置、中小企業の事業展開を支援、機能的なカーアップを実施することにより経営 支援体制を構築します。 の新事業展開、販路開拓、人材育成、業務改善、共同研究、成長産業争と支援することにより、ものづくり産業競争力の強化を図りま ○ものづくり中小企業による大型展示金への出展や海外展開、市外企業とのマッチングを、集や辺陽自治体などとの選携と認りながらった。 提了ることにより、国内が、における新たな市場開発を推進しませます。 関することにより、国内が、における新たな市場開発を推進します。 は今起をロッチングを、集や辺陽自治体などとの選携と関いながもます。 「は今起を使すってリケラムを担略し、ものづくり産業競争力の強化を支 スる次世化人材を育成にませい。ものづくり産業競争力の強化を支 の地場を出発の近外振路開拓を推進するため、電外大阪事務所を設置し、展示節接金への出展やマッチング支援等行い、市内事業 者の実需獲得につなげ、地域産業の持続的な発展を目指します。		
③ 新規産業の創出			I.		
(1)新事業の創出と起業家の育成	-	-	○新たに創業する者や多様な連携により報告急・戦サービスの開 条、ビジネスモールの転換などに受い始む事業を支援することは、 り、創業の促進上起業家の育成を図ります。 の水素エネルドー等の新産業にみる産業無様化やCLT等の地域資 選を活用した関連産業の創出と図ります。 の地域資温のが設計や地域製造の病決へ向けたプロジェクトに テャレンダイを起業志向の人材を全面から募集・誘致し、起業実現と 定性へつなけます。	地方創生推進交付金事業の 取組を具体的に反映し、総合 戦略上での位置づけをより明確にする。	
⑥ 農林水産業の振興			-		
(1)農業生産基盤の確立	水田ほ場整備率	36.1%	○水相及び軽熱作物の効率的な生産体制に必要な大型機械・共同 利用能設などの整備を支援します。 の野菜、果樹、花きなど機関作物の栽培拡大に向けた取植を支援します。 フムネン受援限、農業委員会などの関係団体との連携事業を推進し よりに揺撃機を毛帯実に推進し、農業経営の合理化、安定化及び農業 生産の体制強化を図ります。	より現実に即した名称に項目 を変更する。	

			現行						
新旧対照表 ページ数	政策分野	施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容				
		① 観光産業の創出	•						
P61		(3)受け入れ体制の充実とおも でなしの向上	_	_	○案内人(ガイド)の育成・組織化やバスツアーなどへの支援、また、 大学と連携した観光サールの作成や通信環境の受備などにより、受け入れ体制の充実と"お古くてなし"の向上を図ります。 の観光交流センケーを拠点した来内サービスの充実と、観光協会によら土産物販売コーナーやイベント販売の充実を図ることにより、来訪者へのサービスの向上を図ります。				
		② 西条の価値や魅力の向上・発	信						
		(1)西条ブランドの構築・推進	-	_	石鎚山、うちめきの水に代表される豊かな自然環境、そ こで生産される農水産品などの優位性や独自性のある地 域資源のブランド化と販路拡大、農商工連携による新商品 開発などを推進し、市のイメージを高め、地域全体のブラ ンド化を図る取組を進めます。				
P62	2 西条ブランドを活用した魅力あるまちづくり				ホームページやフェイスブックでの情報発信に努めるとと もに、SNS、ケーブルテレビなどを活用し、広報番組を制作、 放送することで、市内外に市の魅力や政策をPRする取組 を進めます。				
		(2) 魅力の発信やPR	-		のホームページやフェイスブックにより、最新の行政情報を提供します。 ウェースでは、 の本市をPRする動画・テレビ番組をSNS、ケーブルテレビなどを通じて発信します。				

		変更	後	変更珈由
施策	施策 項目 KPI 取組内容			
① 観光産業の創出				
(3)受け入れ体制の充実とおも でなしの向上	-	-	○案内人(ガイド)の育成・銀盤化やいスツアーなどへの支援、また大学と連携した観光ツールの作成や遺信環境の受債などによりまけ入れた制の充実と"おもてなし"の向上を閉ります。 の親光交流セックーを拠点とした案内サービスの充実と、一般社団法人 西桑市観光物産協会による土産物販売コーナーやイベント県売の充実を図ることにより、来訪者へのサービスの向上を図ります。	法人の名称変更による。
② 西条の価値や魅力の向上・発	信			
(1)西条ブランドの構築・推進	-	ı	石鎚山、うちぬきの水に代表される豊かな自然環境、そ こで生産される農水産品などの優位性や独自性のある地 域資源のブランド化と原路拡大、農商工連携による新商品 開発、既存の地域資源を売用した商品等のブラッシュアッ ブをしながら、効果的に付加価値を高める取組などを推進 し、市のイメージを高め、地域全体のブランド化を図る取組 を進めます。	地域ブランドの確立に向け、 施策内容を拡充する。
(2)魅力の発信やPR	-	-	地域の魅力を発展・創造し、地域内外に効果的に発 信する「シティブロモーションを推進することにより、認 知度の向上や、市民のまちへの愛着度や静りの値成を 図ります。 また、広報機をはじめ、ホームページやフェイスブック などインターネットでの情報や魅力の発信に努めること で、市内外に市の魅力や政策をPR・拡散する取組を進 めます。 〇ホームページやフェイスブック、インスタグラムなどインターネット・ ケーブルテレビ等を選じて、最新の行政情報や本市の魅力を市内り に発信します。 〇「音楽市への一般であります。」 の一部が上記するとなった。 の一部が上記するとなった。 の一部が上記するとなった。 第一次の一部であります。 第一次の一部であります。 第一次の一部であります。 第一次の一部であります。 第一次の一部であります。 第一次の一部であります。	<b>\$</b>

#CID-1497 #		現行			
新旧対照表 ページ数	政策分野	施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容
		① 子どもを産み育てる環境の充実			
P65		(1)保育サービス・児童の健全育成の充実	_	_	○延長保育、一時保育、休日保育、病児・療徳児保育、障害児保育 など保育一工(合わせた各種保育サービス事業の充実支援を図 ります。 の施設の環境改善や防災措置、防災研修などの実施により、園児 の安全、安心を確保します。 の地域予育で支援を機画の充実や利用者支援の充実により、子ども、 予育で支援を推進します。 の旋線外電子グラブの受け入れ拡大など保護者のニーズに合わせ た事業の充実を図ります。
		(5)結婚に対する支援の充実	生涯未婚率	3%減少させる	少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化については、 総婚希望者への支援などを実施することにより、上昇して いる未婚率の抑制を図ります。 〇独身者の結婚活動などに対するサポートを実施し、出金いの機会 の提供・光実を図ります。
		② 学校教育の充実			
P66		w TWARVILE	教育用パソコン	3.6人/台	子どもが安全で安心な学校生活ができる教育環境の整備・完実に努めるとともに、学校にCTを導入し、わかるできる・楽しい授業を創造し、校務の省力化などを図ることで質の高い教育を行います。
	3 子育て世代に選ばれるまちづくり	(1)教育環境の整備・充実	電子黒板·実物投影 機の整備率	100% (1学級あたり1 台)	○昭和96年度以前に整備された松舎などの耐震化を図ります。 ○○に7の終極的な場入による勢育環境の整備を図ります。 ○○は7の終極的な場入による勢育環境の整備を図ります。 ○対國受験競争を指令します。 ○別童生験のを指令アゼや地域での安全を確保するとともに、施設の環境改善や防災措置。防災研修などの実施により、児童・生徒の安全・安心を確保します。 ○○の大変によす。 ○○高校及び大学奨学金の維持により、高等教育を受ける機会の充実を図ります。
			街頭指導(声掛け含む)件数	1.400回	ー人一人の子どもを大切にする学校づくり、子どもの成 長を支える家庭や地域との連携・協働の強化に努めるとと もに、教師力の向上と学校力の光美に努めます。
P67		(2)「ともにつくり、みんなが育つ 学校」の創造	小・中学校ホーム ページの年間平均閲 覧数	50,000回/校	○いじめ、不登校、非行防止対策の推進、相談体制の完実、関係機 関との連携後化により、生後指導の先業を図ります。 のホームページや学校だよりはどの方実により、家庭・地域への積 植物な情報発信を行うとともに、学校評議員や学校支援ポランティア との連携・協動が社を図ります。 ○ウィングサポートセンターなどにより、成長、発達に不安のある子 どもが、自立し、地域で置かに生きていくことができるために必要な 支援の充実を図ります。
			全国学力·学習状況 調査平均正答率(総 合)	小学校67.0% 中学校70.5%	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図りながら、学んだことを活用して課題を解決するために必要点思考力・判断力・表現力、自ら進んで学習に取り組む態度を育てるとともに、豊かな体験を通して、生命を尊重し、感動する心を持ち、礼保、生産通じて活力ある生活を送るための基礎となるたくましい体を育成します。
		(3) 知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成	体力テスト結果(総 合判定)	小学5年男子: 55.50点 小学5年女子: 57.50点 中学2年男子: 42.50点 中学2年女子: 52.00点	○「学びあい学習」の推進、学力診断、学習習價積立の支援により、 様かな学力の定義と向上を図ります。 のふるとに今末3動の推進、優れた業術文化に触れる機会の提 様などによるコミュニケーション能力の向上により、豊かなのを育成 じず校体育による総合的な体力の40の推進により、健やかな体を 育成します。 の小学の年生を中心に防災を翻材とした総合的な活動の実施により、 以、防災教育の完美を図ります。 〇小・中学生による国際支売活動の一層の推進を図ります。
			避難訓練年間実施 回数	10回/校	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

	表面现由					
施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容	変更理由		
① 子どもを産み育てる環境の方						
(1)保育サービス・児童の健全 育成の充実	_	_	○延長保育、一時保育、休日保育、東卯・廃棟/保育、障害/児保育 など保育 — 7.1 合力せた各種保育サービス事業の充実支援を図 ります。 の施設の環境改善や防災措置、防災研修などの実施により、圏児の 安全・安心を確保します。 の地域千育で支援拠点の充実や利用者支援の充実により、子ども・ 子育で支援を推進します。 ○放課後り置かラブの環境改善や指導員の質質向上に努め、事業 の先実を例ます。	受け入れ拡大が実施済みと なり、新たな取組を追加する。		
(5)結婚に対する支援の充実	婚姻数	500組	少子化の栗図の一つである未婚化・破婚化については、結婚希望者への支援などを実施することにより、 増短数の増加を図ります。 〇独身者の結婚活動などに対するサポートを実施し、出会いの機会 の提供・充実を図ります。	50歳時点での未婚者の割合 (生涯未婚率)にかかわらず、 多くの世代での婚姻数の増加 を目指し、KPIの設定を見直 す。 平成28年度:458組		
② 学校教育の充実			75.EM 75.70			
ショスが日ツルス						
	教育用パソコン	3クラスに1クラス分	- 人 - 人の子どもを大切にする学校づくり、子どもの成長を支える家庭や地域との連携・協動の強化に努めると ともに、教師力の向上と学校力の充実に努めます。			
(1)「ともにつくり、みんなが育つ 学校」の創造	電子黒板·実物投 影機の整備率	100% (1学級あたり1台)	○ 保護者、地域、関係機関と連携・協働して一人一人の子どもを大切にする教育を推進します。 ○ 学校や子どもの様子について積極的に情報発信するとともに、子 どもの成長につながるよう地域の人的・物的資産の有効活用を図り			
子牧」の制造	街頭指導(声掛け 含む)件数	1,000回	ます。  〇 教職員の学習指導や生徒指導の力を向上させるとともに、教育目標を見現化するためにチームとして取り組む学校づくりを推進しま			
	小・中学校ホーム ページの年間平 均関覧数	50,000回/校	す。また、幼児・児童・生徒が安全で安心な学校生活ができる教育環境の整備・充実に努めます。 〇西条市公共施設等総合管理計画に基づき、適正な時期に老朽化 施設の改登・改修を図ります。			
	普通教室等への 無線LANの整備 率	100%	〇 西条市における要学金制度を維持し、高等教育を受ける機会の 充実を図ります。			
	全国学力·学習状 況調査平均正答 率(総合)	小学校67.0% 中学校70.5%	確かな学力の定着と向上、豊かな心の育成及び健やか な体を育成することで、知・徳・体のパランスのとれた子ど もを育成します。			
(2)知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成	体力テスト結果 (総合判定)	小学5年男子:55.50 点 小学5年女子:57.50 点 中学2年男子:42.50 点 中学2年女子:52.00 点	○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、学んだことを 活用して課題を解決するために必要な思考カ・判断力・表現力、自ら 急んで学習に対し他の歴を再記します。 ○ 豊かな体験を通して、生命を尊重し、感動する心、礼儀や規律を 単んじる心を育成します。 ○ 生涯を通じて活力ある生活を送るための基礎となるたくましい体を 育成します。	平成29年度「西条市の教育 基本方針」との整合性を図る。 また、文部科学省より、「教育 用パソコン」の整備に関する動 たな整備目標が示されたため、 KPIを変更する。		
(3) 西条市の特色ある学校教育 の取組の権進	教育·心理検査 (学級滿足度)	90%	ICTを活用した「学びあい学習」の推進、安全・安心な学校・地域をつくるとともに、未来の西集市を担予著者(リーダー)の育成を図るため、防災教育を推進します。			
収組の推進	文化芸術による 子どもの育成事 業実施校率	50%	○ 学習を改を高め、基礎的な知識・技能の確実な定案や問題解決 能力の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びを実現するとも に、ICTを活用した「学びあい学習を推進します。 〇 安全、安心な学校、地域をつくるとともに、未来の西条布を担う若 者(リーダーの育成を図るため、加収教育を推進します。 〇 豊かな感性や社会性、自分の思いを伝える力、他者の考えを受 け入れる方、よりは、薬団やコミューディを作うごする医療等を育む ため、コミュニケーション教育を推進します。 〇 心身の類別のたれた頻差を促し、人間性の基礎を指う教育を推進 するため、幼・保、小、中、画の連携を強化します。特に、小学校から 中学校の義務教育の学部において、学びの連続性を提出します。			
	避難訓練年間実 施回数	10回/校	中学校の義務教育9年間において、学びの連続性を重視した教育を 実現します。			

新旧対照表				現行		
ポージ数	政策分野	施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容	
		② 健康づくりの推進				
P72	4 安全・安心で暮らしやすいまちづくり	(2)スポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境整備	_	-	スポーツ・レクリエーション活動は、人と人、地域と地域の 交流を促進し地域の一体感や活力を確康するものであり、 人間関係の希達化定との問題を抱える地域社会の再生に 寄与するととは、市長の心身の健康の保持機にも重要な安部を果たし、健康で活力に減らた長春社会の実現 には不可ななわって・・市民の機能が行るの海峡の場合性のよと に、各々の関心や適性に応じて、安全かつの正な環境で 日常的にスポーツ・レクリエーシーン・活動に親しみ発生した。 とかできる機会を確保するための環境整備を進めます。 また、えいめ関係するしめ大会の設技会増施設について、 安全で円済を放棄運搬であるシ型機能がこのいて、 安全で円済を放棄運搬であるシ型機能がこのいて、 安全で円済を放棄運搬であるシ型機能がこのいて、 安全で円済を放棄運搬であるシ型機能がことともに、市民が様々な形で関わることにより、感動や夢、希望を分から合える大会を目指します。  ○運動会や各種スポーツ大会の開催・摂数を支援します。 ○次世代を担う第年限と計論場を対象としたスポーツの製定、使指者や行場を対象とした。第2、シェニア世代がスポーツと観した。 つかけイズリを目的とした数室を開催し、次世代の東京を図ります。 ○公共核育能を設定して帰り、全球を開催し、次世代の東京を図ります。 ○の財政会権に対する。 の財政会権を関係し、次世代の東京を図ります。 ○公共核育能を設定と受け入れた場の整備など、えひめ国体・えひめ大会の開催に向けた環境整備を図ります。	
		<ul><li>④ 防災・減災対策の強化</li></ul>				
P74		(3) 地域防災力の強化	-	-	自主防災組織の結成を積極的に支援するとともに、防災 知識の普及や防災削減の実施を促進し、組織の育成・強化 を図るとともに、防災土の資成については、特別男女共同 参画の観点から女性防災土の業成を図ります。 また、避耕や脚変支援者会選を提びランに基づき、避難 時に支援を要する人に対する支援体制が充実するよう自主 防災組織などに働きかけます。	

	施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容	変更理由
>	<ul><li>② 健康づくりの推進</li><li>(2) スポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境整備</li></ul>	_	(Estate-100) (11)	スポーツ・レクリエーション活動は、人と人、地域と地域の交流を促進し地域の一体感や活力を個成するものであり、人間関係の希達化などの問題を抱える地域社会の病性に寄与するとともに、市民の心身の健康の保持物道にも重要な影響を実施した。一般で活力に満ちた美春社会の実現には不可欠なものです。市民の進むができた。一般では一般であたいた。その関係や通性に応じて、安全の公立な環境で日常的にスポーツ・レクリエーション活動に親しみ楽しむことができる機会を指するためでは、事態を関係するための環境を得るための環境を開きまた。えひめ国体・えりめ大会の競技会場施設について、安全で円滑な競技運営が図られるよう整備を行うとともに、市民が様々な形が関わることにより、影響を夢・夢望を分かち合える大会を目指します。(平成29年10月までに実施等)さらに、えりめ国体・えりめ大会で整備された施設を拡充し、全国大会や国際大会、東京パラリンピンの競技大会の東京パラリンピンの競技大会の事前キャンプの誘致を目指します。	えひめ国体・えひめ大会に向けて整備した施設等の更なる 利活用策を追加する。
	④ 防災・減災対策の強化			大会の開催に向けた環境整備を図ります。(平成29年10月までに実施済)	
	(3)地域防災力の強化	-	-	自主防災組織の結成を積極的に支援するとともに、防災 知識の書かや防災訓練の実施を促進し、組織の育成・強化 を図るとともに、防災上の育成については、特に男女共同 参画の製造から女性防災上の登録を役別、防災土との協 働・連携の完実、中・高校生への防災教育の拡充も図りま す。 また、避難行動要支援者避難支援ブランに基づき、避難 時に支援を要する人に対する支援体制が完実するよう自主 防災組織などに働きかけます。	防災土養成に関する施策に ついて、より具体的な内容を追 加する。

新旧対照表		現行				
新旧対照表 ページ数	政策分野	施策	項目	KPI (目標年度H31)	取組内容	
		(5) 協働のまちづくりの推進				
	4 4 安全・安心で暮らしやすいまちづくり	(2)市民活動団体の育成・支援	ボランティア団体登録数(累計)	10団体(5年間)	市民主体のまちづくり及び協働のまちづくりを推進するため、その担い手となる人材及びNPO法人やボランティア団 がなど、市民美術館体の育成・実施を行います。また、ボランティアセンターと連携し、ボランティアの普及・啓免、活動 者の育成や組織の充実を図るための研修機会を提供しま す。	
			383A (7HIII)		○研修会、セミナー開催を通じて、協働の担い手となる人材及び団 体を育成します。 ○公益的に活を行う団体への助成制度の創設や、ボランティアの 普及・啓発、ボランティア活動者及び団体を育成・支援します。	
P74		(3)市民活動団体のネットワーク 化の促進	西条市市民活動支 接センター利用登録 団体数(累計)	150団体(5年間)	西条市市民活動支援センターを中心としたネットワークを 構築し、市民活動団体間の交流・連携を促進します。	
					〇市民活動団体のネットワークを構築し、団体間の連携を促進します。	
		(4)地域コミュニティ活動の支援	自治会加入率	70%	地域住民自治やコミュニティ活動の中心的担い手として、 重要な俗語を禁たしている自治金組織の可原や新規組成 を支援します。また、公民総を提出し、概和小学校区を単 位とした自治金を中心に地域で活動する各種団体、学校、 企業、行政機能とどが連携にも実践を制造い。 取り組むことができる仕組みづくりを行います。	
			_	_	〇自治会運営の支援、新規結成補助、自治会長研修により、自治会 組織の育成を支援します。 心地域の各種的体などで組織する協議会の設立及び育成・支援な ど、地域コミュニティの活動を支援します。	
		⑥ 時代の変化に対応した地域づくり				
P75		(3)国際交流の推進	_	_	他文化に触れることにより、国際化に対する市民意識の 高揚を目指し、外国人との相互理解を深めるとともに、広い 境野を持ち国際化に対応できる人材の育成や外国の仕民 と地域住民とが互いに署らしやすい環境整備を行います。 また、本市の特性を活かし、文化・産業・経済の発展を目 指した交流や情報を傷を行います。	
		(4)持続可能な地域公共交通の 構築	新交通体系などでの 実証運行の開始	100% (山間部4地域)	○買い物や適能などの移動業態や社会情勢を踏まえながら、公共 交通利用者の利便性向上を切ります。 ○デマルや道中が開ぶれなどの新たな交通体系による実証業験も 推野に、地域住民などの参画による地域ニーズに合った公共交通の 構築を図ります。	
		ነቦዱ	-	_	117.00 C mm 7 V · 7 V	

5	その	他
---	----	---

・巻末に別掲として、総合戦略に関連する地域再生計画一覧を掲載

	変更理由			
施策	施策 項目 KPI 取組內容			
⑤ 協働のまちづくりの推進				
2)市民活動団体の育成・支 豪・ネットワーク化の促進	高条市市民活動 支援センター利用 金製団体数(集 計)		市民主体のまちづくり及び協働のまちづくりを推進するため、その担い手となる人材及びNPO法人やボランティア団体など、市民活動団体の育成・支援を行います。また、ボランティアセンターと連携し、ボランティアを登え、活動者の育成や結構の充実を図るための研修機会を提供します。  西条市市民活動支援センターを中心としたネットワークを構築し、市民活動団体間の交流・連携を促進します。    〇研修会、セミナー開催を通じて、協働の担い手となる人材及び団体を育成します。	まちづくリボランティア事業補 助金を廃止し、平成29年度か 市民活動活性・作用助金倉部 レニとにより、市民活動団性
	に関する施策の統合を図り、 KPIも共通のものを設定する。			
(3)地域コミュニティ活動の支援	自治会加入率	70%	地域住民自治やコミュニティ活動の中心的担い手として、 重要な役割を果たしている自治金組織の育成や新規結 成を支援します。また、公民館を拠点とし、概ね小学校区 を単位とした自治金を中心に地域で活動する各種団体 学校、企業、行政機関などが連携して地域課題の解決に 同けて取り組むことができる仕組みづくり(地域自治組織 の設立)を行います。	地域コミュニティの現状と課題を踏まえ、地域自治組織の 設立を踏まえ、地域自治組織の 設立を強力に推進するため、 取場内容に座型込むとともに、 項目も自治会加入車とともに は自治組織力数を追加す
	地域自治組織設立数	2地区	〇自治会運営の支援、新規結成補助、自治会長研修により、自治会 組織の育成を支援します。 心地域の各種的などで組織する地域自治機機の設立及び育成・ 支援など、地域コミュニティの活動を支援します。	る
⑥ 時代の変化に対応した地域で	づくり		•	
(3)国際交流の推進	-	-	他文化に触れることにより、国際化に対する市民意識の 高機を目前に、外国人との相互理解を変めるともに、広い 視野を持ち国際化に対応できる人材の育成を行います。 また、近年における地域社会のグローバル化の進展に伴 い、海外都市との国際交流活動、在住外国人の生活支援 等について、より一層の推進を図ります。	国際交流活動をより強く推進 するため、施策の内容を一部 変更する。
(4)持続可能な地域公共交通の	新交通体系など での実証運行の 開始	100% (山間部4地域)	○買い物や通院などの移動実態や社会情勢を踏まえながら、公共 交通利用者の利便性向上を図ります。 ○デマンド交通や暗環ハスなどの新たな交通体系による実証実験も 提野に、地域住民などの参画による地域ニーズに合った公共交通の	平成28年度で、目標値を達用したことに伴い、新たな指標を 追加した。また、公共交通にお
構築	モデル地区にお けるデマンド交通 など実証運行の 開始	1 (モデル地区)	構築を図ります。 〇近隣市町との連携により、バス路線等の構築による観光客や交流 人口の増加を図ります。	追加した。また、公共文通における広域連携の取組を追加する。